

オイルド・リアブレーキ

1981年モデル・後輪ドラムブレーキモデルにおいてギアオイルがブレーキドラムに回り込む事例があります。

コストダウンのためか、ディスクブレーキ前提設計のためか理解に苦しむ設計になっています。ブレーキカムシャフトレバーがオイルバスの中を剥き身で接しており、オーリングの能力のみでシーリングしています。オーリングの劣化に伴いファイナルギアオイルはブレーキドラム内に侵入して制動不良を起こします。



オイルドブレーキと呼べるような状態ですがそここの制動能力を有しています。



ブレーキカム基部よりオイルが漏れ出します。



表示のオーリングを交換すれば改善します。 ご心配な方はオイル隔離型対策品も出ています。